

NEWS RELEASE

2020年8月26日

報道関係各位

株式会社ファミリーマート
Telexistence 株式会社

ファミリーマート店舗への本格導入に向けて Telexistence の遠隔操作ロボット「Model-T」の試験運用開始

～店舗の省人化を可能とする新しい店舗オペレーション基盤を構築～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：澤田貴司、以下ファミリーマート）と Telexistence 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：富岡仁、以下 TX）は、遠隔操作ロボット技術を核とした、新たな店舗オペレーション基盤の構築を目的に、TX 製ロボット「Model-T」および「Augmented Workforce Platform（拡張労働基盤、以下 AWP）」のファミリーマート店舗への本格導入に向けた試験運用を開始いたしました。



「Model-T」



「遠隔操作の様子」

このたびは、TX 虎ノ門オフィスから遠隔操作にて、操縦者が VR（仮想現実）端末を使用し、ファミリーマートとしまエコミューズタウン店（所在地：東京都豊島区）に設置したロボットの操作を行っております。

両社は、「Model-T および AWP」を活用し、工数が多い商品検品・陳列業務を遠隔操作化・自動化することで、店舗の省人化や物理的な店舗立地に制約されない自由度の高いスタッフ採用が可能な、ロボティクスを軸にした全く新しい店舗オペレーション基盤を開発してまいります。

第一段階として、店舗のバックヤードの飲料売場にて、比較的業務量の多いペットボトル飲料の陳列から、遠隔操作による業務を開始し、ロボットによる陳列速度・精度の検証を行います。また、今後は、おにぎり・サンドイッチ・お弁当など作業対象の商品を随時拡大しながら、2022年までには、最大20店舗への導入を目指すとともに、多店舗展開が可能な取り組みについては、ファミリーマート全店への順次導入を拡大することも検討してまいります。

ファミリーマートは TX の Model-T 導入により、遠隔地から一人で複数店舗の作業が可能となることで、人手不足の軽減とロボットを通じた新たな働く機会の創出につなげてまいります。また、人と人との接触を減らすことにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止にもつながると考えております。このたびの協業を通じ、お客様のさらな

る利便性向上と店舗従業員のオペレーション負荷軽減及び新しい時代の店舗運営のあり方を実現すべく模索してまいります。

TX は、ロボットを変え、構造を変え、世界を変える、をミッションとし、遠隔操作・人工知能ロボットの開発およびそれらを使用し事業を展開するロボティクス企業です。遠隔操作ロボットと AWP という、ロボットを通じて人々が労働参加できる基盤を開発しております。AWP を支えるクラウドシステムには米 Microsoft 社の Azure を採用しています。

以上

<株式会社ファミリーマート>

所在地 : 港区芝浦三丁目 1 番 21 号
代表者 : 代表取締役社長 澤田 貴司
設立年月日 : 2001 年 7 月 2 日
会社 HP : <https://www.family.co.jp/>

<Telexistence 株式会社>

所在地 : 港区西新橋 2 丁目 1 9 番 5 号 3 F
代表者 : 代表取締役 兼 最高経営責任者 富岡 仁
設立年月日 : 2017 年 1 月 23 日
会社 HP : <https://tx-inc.com>